



2023年10月2日

報道関係者各位

日鉄興和不動産株式会社

物流施設「LOGIFRONT(ロジフロント)」シリーズ初の危険物専用倉庫
『LOGIFRONT 越谷Ⅲ』10月2日着工
2024年6月末の竣工を予定

日鉄興和不動産株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:三輪 正浩)は、物流施設「LOGIFRONT」シリーズを展開しており、10月2日に埼玉県越谷市において同シリーズ初となる危険物専用倉庫『LOGIFRONT 越谷Ⅲ』を着工いたしました。本施設は、全4棟の平屋建て危険物専用倉庫で、総延床面積約1,454.96㎡(約440.17坪)、2024年6月末の竣工を予定しています。



▲『LOGIFRONT 越谷Ⅲ』外観完成予想CG

■『LOGIFRONT 越谷Ⅲ』の特徴

本施設は、現在稼働中の「LOGIFRONT 越谷Ⅰ」「LOGIFRONT 越谷Ⅱ」に併設し、国道16号線の内側、都心から25km圏内、東京外環自動車道「草加」ICから約6kmに位置しています。また、国道4号線へのアクセスも良好で道路の混雑状況に応じた配送ルートを選択が可能な立地です。

本プロジェクトは、近年物流業界においてニーズが高まりつつある「危険物専用倉庫」を整備する計画としました。一般倉庫では保管できない、アルコール類等の消防法上の危険物(第4類相当)を保管できる施設となっており、入居予定である東武運輸株式会社のニーズに沿った4棟平屋建てでの施設計画となっております。

今後、日鉄興和不動産は、物流施設開発をベースとしつつも、多様化する顧客ニーズに対応すべく、これまでの枠にとらわれない新たな産業に資する土地・建物(産業用不動産[※])の開発についても積極的に取り組んでまいります。

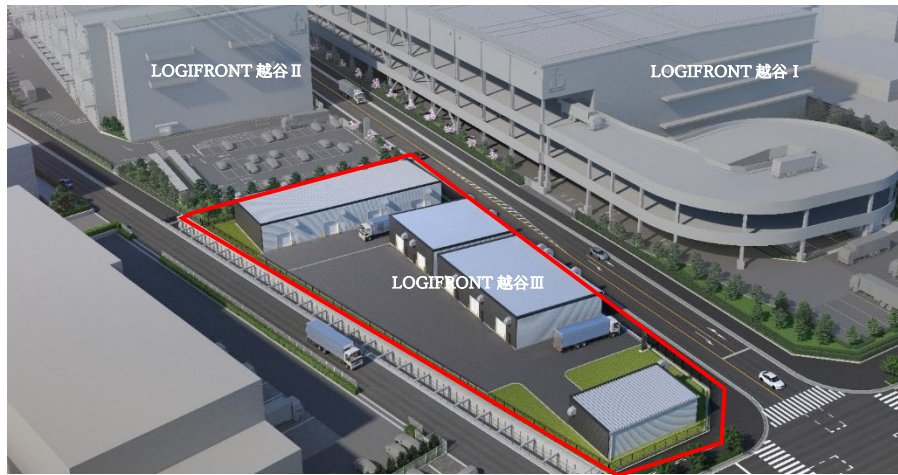
※産業用不動産のイメージ

- ・危険物専用倉庫、冷凍冷蔵倉庫、クレーン付倉庫、研究開発施設(R&D)、流通加工倉庫、工場併設型倉庫、プロセスセンター、データセンター等、一連の産業活動をサポートする施設。

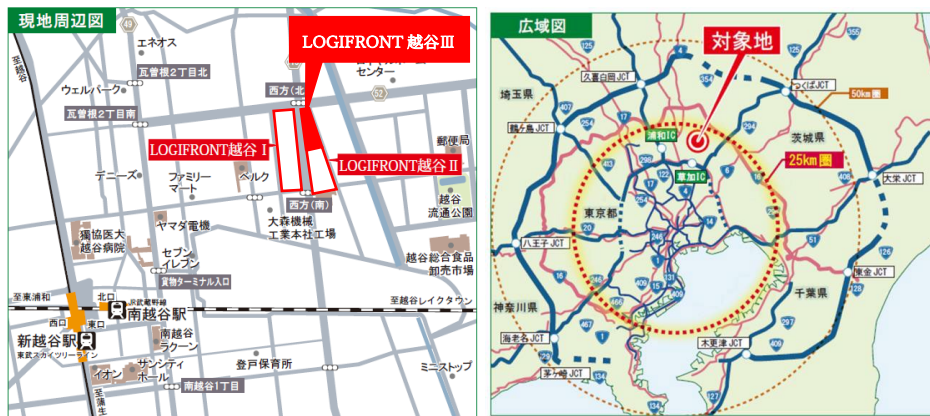


■『LOGIFRONT越谷Ⅲ』計画概要 ※今後、上記記載の内容が変更する場合がございます。

名称	LOGIFRONT越谷Ⅲ
所在地	埼玉県越谷市西方 3092-5、3107-4、3151-167
交通	東京外環自動車道「草加」ICから約 6km
敷地面積	3,826.49 m ² (1,157.51 坪)
延床面積	1,454.96 m ² (440.12 坪) ※4棟合計面積
構造・階数	S造・平屋建
施工	川田工業株式会社
入居者(予定)	東武運輸株式会社
スケジュール	2023年10月着工、2024年6月末竣工予定(C・D棟:4月末、A・B棟:6月末)



【地図】



〈本件に関するお問い合わせ先〉

日鉄興和不動産株式会社 広報室 担当:丹羽(にわ)、吉田

電話:080-1383-5138(丹羽携帯) E-Mail:tomoe.niwa@nsk-re.co.jp